

6年

、下線…学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動

…感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
毛筆学習のはじめに (P1-4) ◎[知識及び技能](3)エ(イ) ○文字を書くことに適した姿勢と、筆や鉛筆などの筆記具の持ち方を理解することができる。 ○毛筆学習で扱う用具の名称と扱い方、片づけ方を理解することができる。	適宜	適宜 適宜	○教師の実演や、教科書に示されている写真、絵を見たりしながら、書字に適した姿勢と筆記具の持ち方を確認し、その型をとる。 ○毛筆学習で扱う用具の名称と扱い方、片づけ方を確認し、その型をとる。 ○各学習において、適宜確かめる。	【知識・技能】 毛筆学習に適した姿勢や筆記具の持ち方、用具の名称や扱い方、片づけ方があることを理解している。 【思考・判断・表現】 合い言葉や写真を見て、適切な姿勢や持ち方、扱い方や片づけ方を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字を丁寧に書くために、適切な姿勢や持ち方、扱い方や片づけ方を実践しようとしている。
身の回りの文字 (P5) ○身の回りの文字に関わるものにふれ、文字文化が生活の中に生きていることを実感できる。	適宜	適宜	○身の回りにある、文字に関わる写真を確かめて、生活の中にも文字文化が生きていることを理解する。	【知識・技能】 身の回りに様々な文字文化があることを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの文字が、様々な形で書かれている理由を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活の中に生きている文字文化を意識し、様々な文字に興味をもとうとしている。
一 五年生で学習したこと (P6-9) ◎[知識及び技能](3)エ(ア) ○五年生で学習したことを想起して書くことができる。	2	1 1	○五年生で学習したことを振り返り、それを意識して文字を書く。 ○五年生で学習したことを生かして、「やまなし」の一節を書く。	【知識・技能】 五年生で学習したことを理解している。 【思考・判断・表現】 五年生で学習したことをどのように活用すればよいのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 五年生で学習したことを活用して文字を書くようとしている。
学習の進め方 (P10-13) ○書字の課題を、自分で考えたり他者と話し合ったりして解決する書写学習の方法を理解することができる。	適宜	適宜	○書写学習の一連の流れを知り、自学自習や他者との意見交換を通して、効果的に学習する方法を理解する。 ○各学習において、適宜確かめる。	【知識・技能】 書写学習に適した学習方法があることを理解している。 【思考・判断・表現】 自分の課題がどのように学習することで解決できるのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活でも整った文字を書けるように、「学習の進め方」を実践しようとしている。
二 文字の組み立て (P14-17) ◎[知識及び技能](3)エ(イ) ○文字の組み立て方を理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「風」を書いて、文字の組み立て方を理解する。 ○文字の組み立て方を意識して、「針」「皇」「困」などを硬筆で書く。	【知識・技能】 文字の組み立て方に注意する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 組み立てるときに、もとの漢字がどう変化するのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字の組み立て方を意識して、硬筆にも生かそうとしている。
三 穂先の動きと点画のつながり (P18-23) ◎[知識及び技能](3)エ(イ) ○穂先の動きと点画のつながりを理解して書くことができる。	4	4	○毛筆で「思いやり」を書いて、穂先の動きと点画のつながりを理解する。 ○穂先の動きと点画のつながりを意識して、「いろは歌」を硬筆で書く。	【知識・技能】 穂先の動きと点画の繋がりがや、筆順と点画のつながりに注意する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 穂先の動きと、点画のつながりがどの部分に表れているのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 穂先の動きと点画のつながりを意識して、硬筆に生かそうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
四 字形を整える (P24-29) ◎〔知識及び技能〕(3)エ(イ) ○字形の整え方を理解して書くことができる。	5	5	○毛筆で「固い約束」を書いて、字形の整え方を理解する。 ○字形の整え方を意識して、J-POPの歌詞の一節を硬筆で書く。	【知識・技能】 文字の筆順、外形、組み立て方に注意すると字形が整うことを理解している。 【思考・判断・表現】 ひとつひとつの文字の整え方に必要なことは何か考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 字形の整え方を意識して、硬筆に生かそうとしている。
五 文字の大きさと配列 (P30-33) ◎〔知識及び技能〕(3)エ(ア)(イ) ○用紙に対する文字の大きさと配列を理解して書くことができる。	5	5	○毛筆で「実りの秋」を書いて、用紙に対する文字の大きさと配列を理解する。 ○文字の大きさと配列を考えて、「明るい街」「夢の実現」を硬筆で書く。	【知識・技能】 用紙に対する文字の大きさと配列を考えて書く必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 文字の大きさと配列を考える部分はどこか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 用紙に対する文字の大きさと配列を考えて、硬筆に生かそうとしている。
六 六年生のまとめ (P34-37) ◎〔知識及び技能〕(3)エ(ア)(イ)(ウ) ○六年生で学習したことを振り返り、文字を書いて確かめることができる。 ○小学校で学習したことを生かして、作品や資料を作ることができる。	3	3	○「開閉」「捨てる神あれば拾う神あり」などをなぞったり書いたりして、六年生で学習した文字の書き方を確かめる。 ○小学校で学習したことを生かして、学校生活の思い出を書いた作品や、調べたことを新聞にまとめてみる。	【知識・技能】 六年生で学習したことを理解している。 【思考・判断・表現】 文字の練習、作品や資料作りの場で、何を意識して書けばよいのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小学生で学習したことを活用して書こうとしている。
資料編 書写の資料館 その一 漢字のいろいろな書き方 (P38) ◎〔知識及び技能〕(3)エ(ア) ○許容される漢字の書き方の特徴を理解することができる。	適宜	適宜	○許容される漢字の書き方を確かめて、その特徴を理解する。	【知識・技能】 許容される漢字の書き方があることを理解している。 【思考・判断・表現】 許容される書き方が、漢字のどの部分にあるのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 許容される漢字の書き方の特徴を意識して、丁寧に文字を書こうとしている。
その二 都道府県名を書こう (P39-43) ◎〔知識及び技能〕(3)エ(ア) ○47都道府県名を漢字で書くことができる。	適宜	適宜	○47都道府県の名称を漢字で書く。	【知識・技能】 これまでに学習した漢字の書き方を活用する必要のあることを理解している。 【思考・判断・表現】 学習した書き方をどう活用すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の場面でも、学習した漢字を積極的に書こうとしている。
その三 アルファベットとローマ字 (P45) ◎〔知識及び技能〕(3)エ(ア) ○アルファベットとローマ字の書き方を理解して書くことができる。	適宜	適宜	○ローマ字表を確かめたり、大文字と小文字のアルファベットのなぞり書きなどをして、アルファベットとローマ字の書き方を理解する。 ○アルファベットとローマ字の書き方を意識して、自分の名前や地名などをローマ字で書く。	【知識・技能】 漢字や仮名などと書き方が異なることを理解している。 【思考・判断・表現】 ローマ字の五十音の表記の法則性を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 アルファベットとローマ字の書き方を意識して、様々な言葉や名称をローマ字で書こうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
その四 ひらがな・かたかなの表 (P46) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア) ○平仮名・片仮名の五十音を、筆順や書き方に注意して書くことができる。	適宜	適宜	○これまでに学習したことに注意して、平仮名・片仮名を書く。	【知識・技能】 これまでに学習した平仮名・片仮名の書き方を全て活用する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 学習した書き方をどう活用すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習場面や日常でも、それぞれの平仮名・片仮名の書き方を意識して書こうとしている。
その五 六年生で学習する漢字 (P47-49) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア) ○六年生で学習する漢字を確かめることができる。	適宜	適宜	○これまでに学習した漢字の書き方に注意して、六年生で学習する漢字を書く。	【知識・技能】 これまでに学習した漢字の書き方を理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの漢字に、どの書き方を活用するか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習場面や日常でも、それぞれの漢字を意識して使おうとしている。
その六 書き初めをしよう (折りこみ①) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ)(ウ) ○書き初めに適した姿勢を理解して書くことができる。 ○六年生で学習したことを生かして、書き初めを書くことができる。	3	2 1	○書き初めに適した姿勢を理解し、その型をとる。 ○六年生で学習したことに気をつけて、「夢の実現」を練習する。 ○六年生で学習したことと自分の学習課題を確認し、「夢の実現」のまとめ書きをする。	【知識・技能】 「書き初め」という伝統文化があることを理解している。 【思考・判断・表現】 学習したことをどう活用すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習したことを活用して、書き初めをしようとしている。
その七 読みやすく書こう (折りこみ②) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア) ○掲示物やお知らせが読みやすくなる書き方を理解して書くことができる。	適宜	適宜	○ポスターの例を確かめて、掲示物が読みやすくなる書き方を理解する。 ○掲示物が読みやすくなる書き方を意識して、実際に資料をまとめてみる。	【知識・技能】 掲示物が読みやすくなる書き方があることを理解している。 【思考・判断・表現】 読みやすく書くために、どこを工夫すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 読みやすくなる書き方を、実際の資料制作の場にも積極的に生かそうとしている。
その八 はがき・原稿用紙・手紙の書き方 (折りこみ③) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア) ○葉書、原稿用紙、手紙の書式を理解して書くことができる。	適宜	適宜	○葉書、原稿用紙、手紙の書式を確かめて、理解する。 ○葉書、原稿用紙、手紙の書式と、これまでに学習したことを意識して、実際に書いてみる。	【知識・技能】 葉書・原稿用紙・手紙に書式があることを理解している。 【思考・判断・表現】 これまでに学習したことをどう活用すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 書式を意識し、実際の場で生かそうとしている。
発展 「行書」で書いてみよう (P50-51) ○行書に触れ、中学校での書写学習の内容を知る。	適宜	適宜	○行書の毛筆教材「栄光」を確かめて、行書体の文字を知る。 ○行書の特徴を確かめて、楷書と異なる書き方を知る。	【知識・技能】 「行書体」という書体があることを理解している。 【思考・判断・表現】 行書はどんな書き方なのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 行書の学習に興味をもとうとしている。